

Windows再起動アダプタ取扱説明

Rev.2.2

◆ 概要

再起動アダプタは、フリーズ/ロック状態となったときにWindowsを再起動し、操作可能な状態に戻すための装置で、1スイッチで操作することができます。



◆ 適用

➤ 動作環境

USBポートを持ちWindowsXPが動作しているパソコンで使用できます。

➤ 対応可能なフリーズ/ロック

アプリケーションソフトからの応答が無く、外見上動作が停止した状態に対応します。

Windows自体がフリーズ/ロックした状態、マウスカーソルが動かなくなった状態では多くの場合動作しません。

◆ 付属品

ミニプラグ付きコード 1本



◆ 各部の名称と機能

➤ 前面



ランプ
動作状態を表示します

スピードつまみ
スイッチ長押し時間、オートスキャンのスピードを設定します。
時計方向に回すと速く(時間が短く)なります。

➤ 背面



USBコード
パソコンのUSBポートに接続します

オペレートナビ
接続ジャック
オペレートナビスイッチボックスとコードで接続します

操作スイッチ
ジャック
操作スイッチを接続します

◆ 接続

1. 操作スイッチのコードをオペレートナビスイッチボックスから外してください。
2. 1で外した操作スイッチのコードを再起動アダプタの操作スイッチジャックにさし込んでください。
3. 再起動アダプタのオペレートナビ接続ジャックとオペレートナビスイッチボックス間を付属のコードでつないでください。
4. Windowsが起動した状態で再起動アダプタのUSBコードをパソコンのUSBポートに接続してください。
5. Windowsからは標準のUSBキーボードとして認識され、はじめて接続したときにはWindows標準のドライバが自動的にインストールされます。(専用ディスク等は不要です)



◆ 操作方法

➤ 通常操作

1. スイッチを短く押すと今まで通りオペレートナビの操作が行えます。

➤ 動作予告

2. スイッチを押したままにして約4秒経過するとランプが橙色で点滅し、ブザーがピピピと鳴ります。これはもうすぐ再起動動作になるという予告です。
3. 予告は約1秒間続きます。その間にスイッチを離せば、通常のオペレートナビ操作を続けることができます。

➤ タスクマネージャ起動

4. 予告期間を過ぎてもスイッチを押したままにすると、すなわち、スイッチを約5秒間押すと、ランプが赤の点灯に変わり、別の音色でブザーが鳴ってパソコンへCtrl+Alt+Delのキー入力信号が送られます。これによりパソコン上でタスクマネージャが起動します。(起動まで数秒かかる場合があります)

➤ 手動操作

5. 上記4でブザーが鳴ってランプが赤の点灯に変わった時点から約1.2秒以内にスイッチを離すとスイッチ操作で再起動操作を行う状態になります。
6. 約1秒毎にブザーが鳴りランプの色が赤、緑、橙、白(消灯)の順に変化します。
7. スイッチを押すとその時点でのランプの色に対応したキー入力信号がパソコンへ送られます。
8. ランプが 赤の場合Alt、U、R3つのキー入力信号が順に送られ、タスクマネージャによる再起動動作がスタートします。
9. ランプが 緑の場合Tabキー入力信号が送られます。Tabキーは操作待ちの画面で「はい」「いいえ」「キャンセル」のように複数のボタンが表示されたとき、選択(太枠などで強調表示)ボタンの切り替えに使用します。
10. ランプが 橙の場合Enterキー入力信号が送られます。Enterキーは操作待ちの画面で選択(太枠などで強調表示)されたボタンを押す操作に使用します。
11. ランプが 白(消灯)の場合Esc(Escape)キー入力信号が送られます。Escキーは操作待ちの画面で「キャンセル」ボタンが表示されていればそのボタンを押す操作に使用します。「キャンセル」ボタンが表示されていない状態ではウィンドウを閉じる動作が行われ、誤って起動した場合などにタスクマネージャを終了させるのに使用できます。
12. 手動操作による再起動動作では後述の自動再起動動作時のようにEとNのキー信号を自動的にパソコンへ送ることはしません。そのため保存していない文書があるアプリケーションソフトがあると再起動動作は操作待ちで一時停止します。Tabキー、Enterキーでその都度操作してください。
13. キー信号をパソコンに送っているときブザーが短く鳴ります。
14. スイッチを押したままにすると約2秒毎に同じ操作が繰り返し行われます。
15. スイッチを離すとランプの色が赤、緑、橙の場合は上記6のランプの色が順に変わる状態に戻ります。白(消灯)の場合は再起動動作を中断し、通常操作に戻ります。

16. 再起動操作の途中で「キャンセル」ボタン操作が必要な場合はEcsキーではなく、Tabキーで「キャンセル」ボタンを選択し、Enterキーで押す操作を行ってください。
17. 上記6のランプの色が赤、緑、橙、白(消灯)の順に変化する状態のままスイッチ操作を行わないと、ランプの色が24回(6周)変わった時点でタスクマネージャを終了し通常操作に戻ります。

一覧

赤	ALT、U、R	再起動
緑	Tab	項目移動
橙	Enter	OK(選択されたボタンを押す)
白	Esc	キャンセル

➤ 自動再起動動作

18. 上記4でランプが赤になった後もスイッチを押したままにしていると、約1.2秒後、スイッチを押し始めてから約6.2秒後にブザーが鳴ってランプが橙に変わります。
19. ランプが橙に変わった時点から約1.8秒以内にスイッチを離すと自動再起動動作がスタートします。
20. 自動再起動動作ではパソコンへAlt、U、Rキー入力信号を順に送り、タスクマネージャを自動操作して再起動動作を行います。(以降操作できることはありません)
21. 自動再起動動作中は約2秒ごとにEとNのキー入力信号をパソコンへ送って、起動中のアプリケーションソフトを文書保存せず終了させる操作と、応答しないアプリケーションソフトの強制終了を行います。
22. キー信号をパソコンに送っているときブザーが短く鳴ります。
23. パソコンの再起動が行われると再起動アダプタは再起動動作からオペレートナビ操作状態へ戻ります。

➤ キャンセル

24. 上記18でランプが橙に変わった後さらにスイッチを押したまま約1.8秒経過すると、すなわち、スイッチを押し始めてから約8秒経過すると、ブザーが鳴ってランプが消灯します。その時パソコンにEcsキー入力信号が送られタスクマネージャが終了します。(キャンセル)
25. ランプ消灯後スイッチを離すと通常状態に戻ります。

➤ ナースコール

26. 上記24でランプが消灯した後さらにスイッチを押したままにすると、約0.8秒後、押しはじめから約8.8秒後にブザーが断続的に鳴りランプが赤く点滅します。(簡易コール)
27. ブザーとランプの点滅は約10秒間続きます。その前にスイッチを離すと通常状態に戻ります。
28. 「スイッチマン」などを同じスイッチで操作する場合はナースコールに切り替わる時間を上記24(約8秒)より長く設定してください。

◆ 設定

1. 前面パネルのスピードつまみを小さいドライバーなどで回すと、操作時間/スピードを変えられます。
2. つまみを時計方向に回すと設定時間が短くなります。
3. 設定を変えると以下の時間が同じ比率で連動して変化します。
 - (ア) スイッチを押し始めてから予告開始までの時間 [出荷時設定約4秒]
 - (イ) 予告時間 [出荷時設定約1秒]
 - (ウ) 自動再起動動作受付開始までの時間 [出荷時設定約6.2秒]
 - (エ) 再起動動作キャンセルまでの時間 [出荷時設定約8秒]
 - (オ) 手動操作でランプの色が順に切り替わる間隔 [出荷時設定約1秒]
4. 「スイッチマン」などを使用する場合は、パソコン操作からナースコールに切り替わる時間を、手動操作のみ使用する場合上記(ア)+(イ)より長く、自動動作も使用する場合は(エ)より長くなるよう「スイッチマン」あるいは再起動アダプタのスピード/時間設定を調節してください。

5. スピードつまみを回して設定できる範囲は以下の通りです。
- (ア) スイッチを押し始めてから予告開始までの時間
約0.5秒～約9秒
 - (イ) 予告時間
約0.3秒～約2.5秒 [(ア)のおよそ1/4]
 - (ウ) 自動再起動動作受付開始までの時間
約1秒～約16秒 [(ア)のおよそ7/4(1.75)倍]
 - (エ) 再起動動作キャンセルまでの時間
約1.4秒～約20秒 [(ア)のおよそ9/4(2.25)倍]
 - (オ) 手動操作でランプの色が順に切り替わる間隔
約0.3秒～約2.2秒 [(ア)のおよそ1/4]

◆ 注意

1. 再起動操作中もスイッチ信号はオペレートナビへ送られます。オペレートナビにより異常操作を行ってしまわないよう注意してください。
2. 対応できるのは一部のロック/フリーズだけです。パソコン全体がロックした状態、キーボードやマウス操作に反応しない状態では動作しません。
3. 再起動アダプタで強制的に再起動を行った場合や再起動動作を途中で止めてWindowsに戻った場合、その後の動作が不安定になる可能性があります。できるだけ通常操作でもう一度再起動を行ってください。
4. Windows98、Meは再起動の方法が異なるため使用できません。これらで使いたい場合ご相談下さい。